



そうわ通信 11月号

《学校教育目標》豊かな心を持ち 自ら考え たくましく生きる子の育成
～学び合い 高め合う なかまづくり～

気持ちよい秋空のもと“相和ハッピー祭”大成功！

【令和5年10月21日（土）】

昨年度から、体育的行事である「相和祭」と勤労生産・奉仕的行事である「収穫祭」を合体した「相和ハッピー祭」が、今年度も成功裏に終わりました。

手探りだった昨年と比べ、より計画的に準備を進めた5・6年生は、自分の種目はもちろんのこと、開閉会式や委員会種目の役割を自覚し、素晴らしい祭を創りあげました。

運動会から継承している種目の徒競走では、地域協力者の北村さんから伝授された速く走る方法を実践し、全力で走りきりました。表現運動には、多くの時間をかけ、大きな動きを意識して、「揃えるよりも気持ちよく」にこだわりながら演技していました。1～3年生は、地域協力者の高橋さんや古矢さんから伝承されたことを、きっと忘れることはないでしょう。

午前の部の最後には、グラウンド中央につくりあげたシンボルトワーに火をつけ、過日収穫したサツマイモを焼いて、みんなで食しました。午後の部は「ハッピー焼いも」という名称を子供たちが命名し、環境委員会の子供たちが主役となって、充実した時間となりました。インフルエンザの拡大が心配されましたが、無事終えることができたのも、保護者と地域の方々のおかげです。本当にありがとうございました。



1～3年生の「はねこ踊」の演技です。難しいと思われた振付もしっかり覚え、元気いっぱい笑顔で、演技しました。



ハッピー祭を自分たちで創り上げた相和っ子

8人と少数精鋭ながら、見事に企画・運営をやりぬいた6年生にあげられます。



「子育てアラカルト②④ ～ペップトーク②～」

言葉というのは、子供たちが育つうえで、重要な環境の一つです。次の状況はよくあることですが、ポジティブに捉えたとしたら、みなさんはどんな言葉に変換しますか？

「①問題が起こった」「②面倒くさい」「③苦手なこと」「④無理・できない」「⑤忙しい」

私が参加した講演会で、講師の方は次のように変換していました。

「①改善のチャンス」「②やりがいがある」「③克服したら感動すること」「④挑戦に値する」「⑤やることがある」

なるほど……。この捉え方なら、最初の一步を踏み出せそうです。言葉には力があり、子供たちだけではなく大人も言葉によりモチベーションが上下すると思います。

また、失敗を恐れ挑戦する勇気が出ないという話もよく聞きます。人生の中で、一切失敗しないなんてあり得ない、ということは分かっているのですが、心配で心配で仕方がない場合もあります。これも、何をもって「失敗」というのかを考える必要があるのではないのでしょうか。

最後になりますが、禁止語をここで何点か記載します。これを禁止ではない言葉の表現に変換するとしたらどうしますか？11月末のホームページで、変換例を記載します。

「①遅刻しないで！」「②忘れ物をしないで！」「③嘘をつかないで！」「④あきらめないで！」

学び合いタイム② 【令和5年11月10日(金)】

今年度から本格的に導入した「学び合いタイム」の2回目が行われました。校内研究担当の先生が、事後に学校HPで記載したことが今回の成果そのものなので、次のとおり、そのまま転記します。

「私が感じたことは、前回より『合い』『相』『愛』に溢れる学びであったところです。相手に合わせ、関わり合うこと、ペアやグループになり、互いに一緒に取り組むこと、『すごいね。できたね。』尊敬し、習おうとする心、3つの『あい』がたくさんの場面で見られ、あるときは静寂に、あるときは話合いの声が活気であふれている素敵な1時間になりました。

ぜひ、お子さんのノートや会話から、学びの様子を受け取っていただけたらと思います。また、お家の方からの応援は、子供たちにとって一番のエネルギーや意欲につながりますので、どうぞよろしくお願い致します。」

学び合いタイムは、1月に3回目が予定されています。すでに担当の先生から次の内容についてのアイデアも提示されています。

一学年の人数は少ないかもしれませんが、このような取組をすることで、他学年の学びの様子を実感でき、目指すべき姿が共有できることが強みです。

今回は国語の「書く」ことに焦点があてられるようですが、その時間も充実したものになりそうですので、今から楽しみにしています。



よりよい授業を目指して ～継続した授業研究～

「知識・技能の習得」

「思考力・判断力・表現力等の育成」

「学びに向かう力、人間性等の涵養」

以上、資質・能力の3つの柱を伸ばしていきけるような授業をつくりあげるために、教員は日々研究しています。中でも算数と特別の教科 道徳を窓口とし、県町の指導主事さんからご指導をいただき、今日の授業より明日の授業がより充実したものになるよう努めています。写真は、授業後の研究協議の様子ですが、成果と課題に対する改善策を話し合い、そこに妥協はありません。次年度以降、保護者の方々に、参観いただく機会も設けることも考えているところです。



続・表彰の報告

10月号で夏の取組について報告させていただきましたが、その後も続々と入賞等がありましたので、今月号でもお伝えします。

なお、すでにお伝えしているところですが、児童昇降口付近に12月末まで一覧を掲示してありますので、来校の際にご覧いただければ幸いです。

大井町福祉作文

○優秀賞 4年 国谷 悠 さん
6年 西川 小春 さん

町子ども絵画展

○佳作 5年 香川 明日菜 さん

税の書道展

○銅賞 2年 長谷川 陽向 さん
3年 長田 栄太 さん
○佳作 1年 長田 笑実 さん
5年 長田 幹太 さん
○努力賞 3年 熊谷 陽菜 さん
4年 迫 泰成 さん
○努力賞 4年 福山 美柑 さん
5年 川口 紗奈 さん
6年 鈴木 恋奏 さん

～地域とともにある学校～

相和地区をはじめ、大井町には貴重な地域素材(人的・物的)がたくさん存在し、子供たちは多くのことを学ぶチャンスがあります。日頃の授業は、本校の教員が行うことが圧倒的に多いのですが、やはり専門の方から学ぶことが大切です。

最近の子供たちは、将来の夢と聞かれて何と答えるのでしょうか？まだはっきりしていない子もいるかと思いますが多くの地域の方とふれ合うことで、様々なきっかけを得られることと思います。今後も引き続きお世話になるとと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

